

# 資料 -1

## 大磯駅周辺地区安全安心・にぎわい創出計画（案）

### 第2回 検討会議

平成29年11月13日

1. 調査実施報告
  - 1-1. 町民アンケート調査実施報告
  - 1-2. 交通量調査実施報告
2. 事業コンセプト
  - 2-1. 事業対象地の特性（大磯駅前周辺地区）
  - 2-2. 事業コンセプト提案フロー
  - 2-3. 大磯駅前広場計画のコンセプト（案）
3. 駅前広場及び周辺交通の現況
  - 3-1. 現況の周辺道路状況
  - 3-2. 動線計画の整理
  - 3-3. 接続道路の整備手法整理
4. 駅前広場の施設計画
  - 4-1. 駅前広場交通の現況
  - 4-2. 駅前広場の課題と整備方針
  - 4-3. 町民アンケート、交通量調査、部会意見の計画案へ反映
  - 4-4. 施設数、面積等根拠の算定
  - 4-5. 施設計画の比較検討
5. 旧駐輪場跡地計画
  - 5-1. 旧駐輪場跡地計画の検討

# 1. 調査実施報告

※詳細については、「資料編-1. 町民アンケート調査結果」を参照

## 1-1. 町民アンケート調査実施報告

### 大磯駅前広場の利用等に関するアンケート調査 ～結果概要～

#### 1. 調査方法概要

- 調査方法：①町民無作為抽出調査（H29.4.1時点15歳以上） アンケート用紙郵送配布・郵送回収  
②駅前広場利用者調査 アンケート用紙街頭配布・郵送回収
- 実施時期：①平成29年10月10日郵便発送、②平成29年10月10日駅前街頭配布
- 配布数：①999通（1,000名送付、1名不達）、②500通
- 回収票数：①402票、②230票 <合計>632票（平成29年11月1日時点）

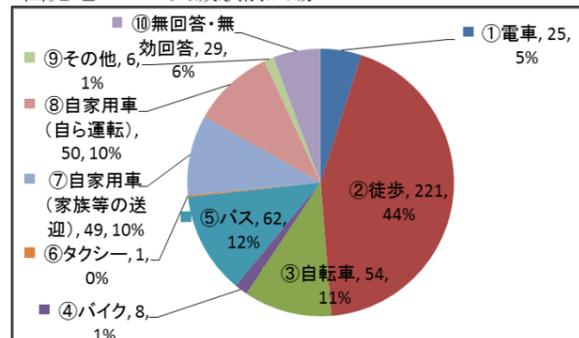
#### 2. 調査結果概要（①町民無作為抽出調査、②駅前広場利用者調査の合算値）

問6 町民無作為抽出は、「1.週5回以上」、「2.週に数回程度」、「3.月に数回程度」で訪れる方に伺います。

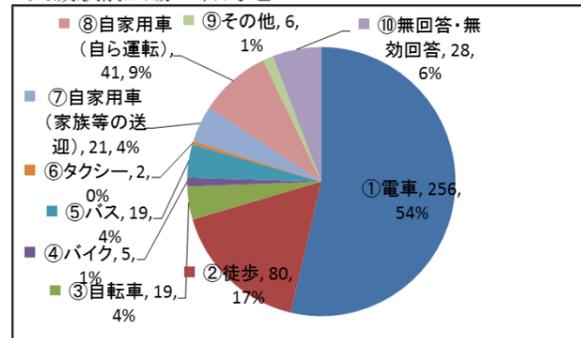
駅前広場利用者は、全員に伺います。大磯駅前広場を訪れる際の、出発地から大磯駅前広場まで、及び大磯駅前広場から目的地までの主な交通手段を教えてください。（それぞれ1つに○）

※大磯駅前広場周辺が目的地の場合は、「出発地→大磯駅前周辺」だけを回答してください。

出発地 → 大磯駅前広場

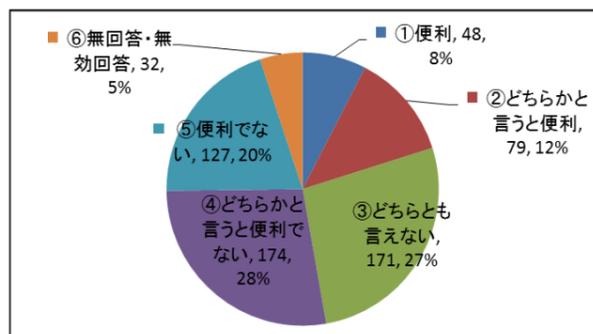


大磯駅前広場 → 目的地



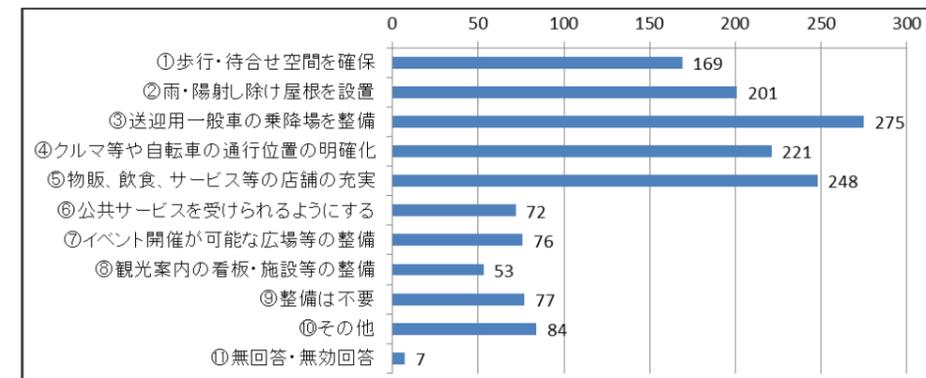
大磯駅前までの交通手段は、多い方から順に徒歩、バス、自転車、自家用車（家族等送迎）・自家用車（自ら運転）でした。駅からの交通手段では、電車に乗って町外に出かける方が54%で過半数を占めています。

問8 全員に伺います。現在の大磯駅周辺は便利だと思いますか？（1つに○）



便利でない又はどちらかと言うと便利でないという方が48%で圧倒的に多く約半数を占めているのに対し、便利又はどちらかと言うと便利という方は20%のみでした。どちらとも言えないという方は27%でした。

問9 全員に伺います。大磯駅周辺の利便性向上のため、どのような整備、まちづくりを望みますか？（3つまで○）



③送迎用一般車の乗降場の整備や②雨・陽射し除けの屋根設置といった駅前広場の利便性の向上を望む意見や、④クルマ等や自転車の通行位置の明確化や①歩行空間、待合せ空間の確保といった交通安全対策を望む意見が多い結果となりました。また、⑤物販・飲食・サービス等の店舗の充実といった生活利便性の向上を望む意見も多く見られました。

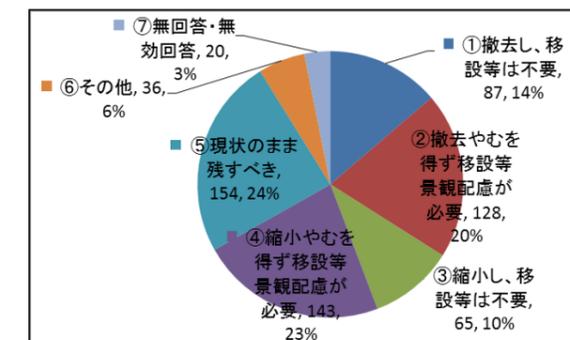
<主なその他意見>

- ・カフェ ・喫茶店（お茶やアルコール） ・一般車が多い。送迎の乗降、買物のための駐車スペース
- ・喫煙所が欲しい、禁煙にして欲しい ・大磯らしさ、魅力を残す。駅周辺の樹木を残す。
- ・予算をかけずに。

問10 全員に伺います。大磯駅前広場は狭いので、広場の利便性向上を目的として一般車（送迎用）乗降場等を整備するため、駅前広場西側のロータリー（緑地）部分（裏面写真を参照）を縮小又は撤去するとしたら、どのように考えますか？（1つに○）



（駅前広場西側のロータリー（緑地）部分）



利便性のため、ロータリーの撤去又は縮小はやむを得ないという意見が合計で67%となり、現状のまま残すという意見の24%を大きく上回った。ただし、撤去も縮小も、移設するなど景観への配慮が必要と答えた人が移設不要と答えた人の約2倍程度いることから、移設等による景観配慮への希望が高いことがうかがえます。

<主なその他意見>

- ・ロータリー機能は必要。混乱が少なくなる。スピード抑制になる。 ・ロータリーは残したまま一般車乗降場等の整備。 ・大磯らしさを残すため撤去、縮小を望まない（駅前の景観、シンボル）。

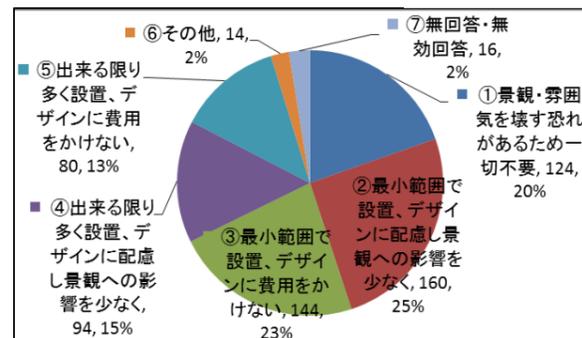
問11 全員に伺います。大磯駅前広場内の利便性向上を目的として雨や陽射し除けの屋根を設置することについて、どのように考えますか？（1つに○）



二宮駅北口  
バス停屋根



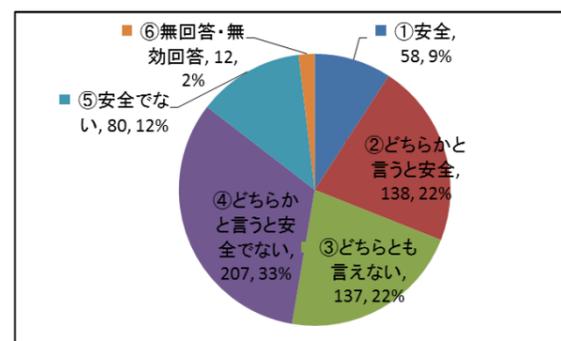
湯河原駅前  
バス停歩道屋根



＜主なその他意見＞

- ・最小限の範囲に設置し、高価でなくてもデザインに配慮。
- ・個性的な駅舎に合った屋根
- ・バス停に屋根が無いのは不親切。
- ・現状のまま。

問 12 全員に伺います。現在の大磯駅前広場は安全だと思いますか？（1つに〇）



大磯駅前広場を安全でない又はどちらかと言うと安全でないが45%で、安全である又はどちらかと言うと安全であるの31%を上回りました。また、どちらとも言えないは22%でした。

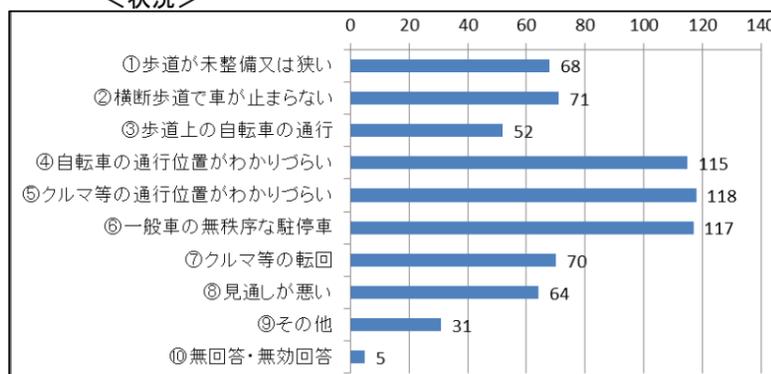
＜主なその他意見＞

- ・歩道、横断歩道の設置
- ・自転車の一方通行の逆走防止
- ・照明が暗い
- ・タクシーの駐車台数が多い
- ・県道の坂が急で歩道が狭いため危険
- ・町道13号の舗装の凹凸

問 13 問 12 で、「4. どちらかと言うと安全でない」、「5. 安全でない」と答えた方に伺います。

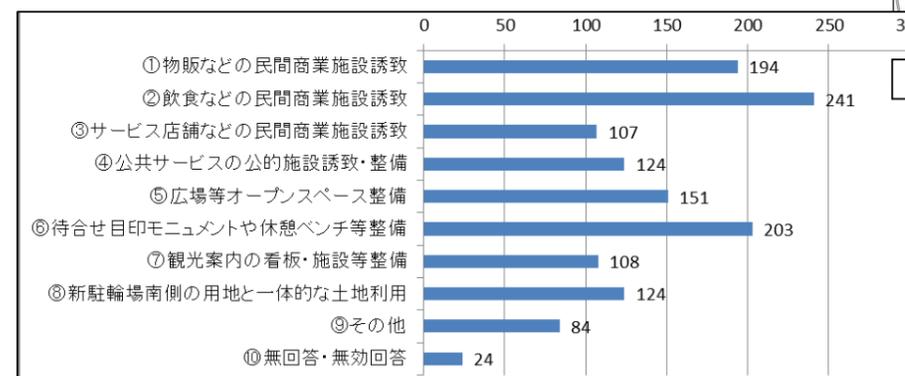
どのような状況が安全ではないと思いますか？また、その場所はどこですか？＜状況＞の選択肢の番号をく地図上の図面上に記載願います。（3つまで回答）

＜状況＞



自転車の通行位置がわかりづらい、クルマ等の通行位置がわかりづらい、一般車の無秩序な駐停車が危険であるという意見が、ほぼ同数で他の意見に比べ圧倒的に多かったです。自転車やクルマの動線と、バス停、タクシー停車場等の施設の配置が錯綜しているという現状を、危険と感じている人が多いと思われます。

問 15 全員に伺います。旧大磯駅前東駐輪場跡地付近（右図参照）は歩道整備等の安全対策とともに、どのような整備を望みますか？（3つまで〇）



旧駐輪場跡地に望まれる施設は、飲食などの商業施設、次いで待合せ目印やベンチ等の整備であり、駅前であつちよつと休める場が欲しいという意見が表れていると思われます。また、現状の大磯駅周辺が不便であるとの意見が多いため物販などの商業施設を望む意見も多くありました。

＜主なその他意見＞

- ・公園緑地・少し休める場所
- ・カフェ、飲食店
- ・保育所、子供の一時預かり、子育て支援施設
- ・自動車の駐車場（短時間含む）
- ・観光案内所、交番、民間ビルと一体的な整備。再開発。
- ・情報発信交流拠点

問 16 全員に伺います。大磯駅周辺のまちづくりや駅前広場等の整備に関するご意見・ご要望があれば、記入してください。

＜主なその他意見＞

（安全安心、防災）

- ・県道の拡幅、歩道拡幅（片側歩道）、一方通行化（町道大磯48号や町道幹線12号を含め）
- ・クルマ等、自転車の空間の明確化。表示。
- ・歩道拡幅
- ・送迎用の駐車スペース。駐車場。
- ・駅舎前に人がたくさん溜まっている。
- ・ロータリー周辺の一般車の無秩序な駐停車（大磯らしい魅力的で個性的）
- ・緑が目に入る景観を大切に。
- ・駅前広場周辺店舗のバラバラな景観の一体化
- ・雰囲気、景観は壊さない（避暑地イメージ、レトロ、広告がない、緑、のどか、ホッとできる、のどか、ゆったりした、落ち着いた、昔ながら、文化が香る、湘南発祥の地等）
- ・町の観光資源を集約発信する場がない（交流と子育て世代の定住）
- ・バスなどの交通がより利用される工夫。
- ・休憩や飲食できるスペース。
- ・駅近くに子供を預けられる施設は必須。
- ・授乳室やおむつ交換スペース。
- ・買い物できる店舗（その他）
- ・整備にお金をかけない。
- ・町歩きする人が多すぎる。
- ・広場の面積が狭すぎる。盛りだくさんにできない。
- ・待合せ・たまり場が欲しい。
- ・障害福祉関係を充実した施設。
- ・チェーン店などありきたりな駅になつて欲しくない。
- ・駅前のトイレが少ない、汚い。



## 1-2. 交通量調査実施報告

平日及び休日に交通量調査を実施し、一部調査項目については、追加調査を行った。以下に調査内容及び調査結果概要を示す。

### 1-2-1. 交通量調査の内容

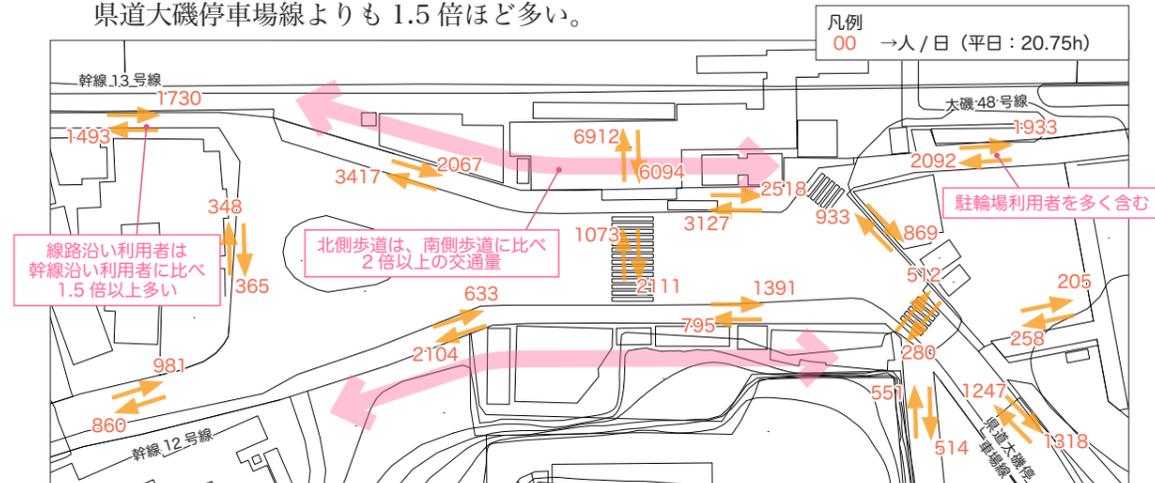
調査日： 第1回 8月26日(土)、9月5日(火) 両日共晴天  
 第2回(追加調査) 10月25日(水)、10月28日(土) 両日共雨天  
 調査内容： (※10月28日(土)の調査結果は集計作業中)

調査項目	調査日		調査時間	調査箇所		備考
	第1回	第2回		交差点※2	駅前広場	
自動車※1方向別交通量調査	○	○	6:00～21:00	○		・信号交差点は、サイクル長、断面幅員構成を同時調査 ・交差点需要率算定
	○	○	6:00～21:00		○	
歩行者自転車方向別交通量調査	○		4:30～25:15 (初電～終電)		○	
車両滞留状況調査	○	○	6:00～21:00 (各時間毎に1回カウント)		○	
自動車乗降調査		○	5:30～24:00 (路線バス運行時間)		○	
通過交通量調査		○	4:30～25:15		○	

※1 小型車類(乗用車・タクシー・貨物車)及び大型車類(バス・貨物車)  
 ※2 鳴立沢交差点、大磯駅入口交差点

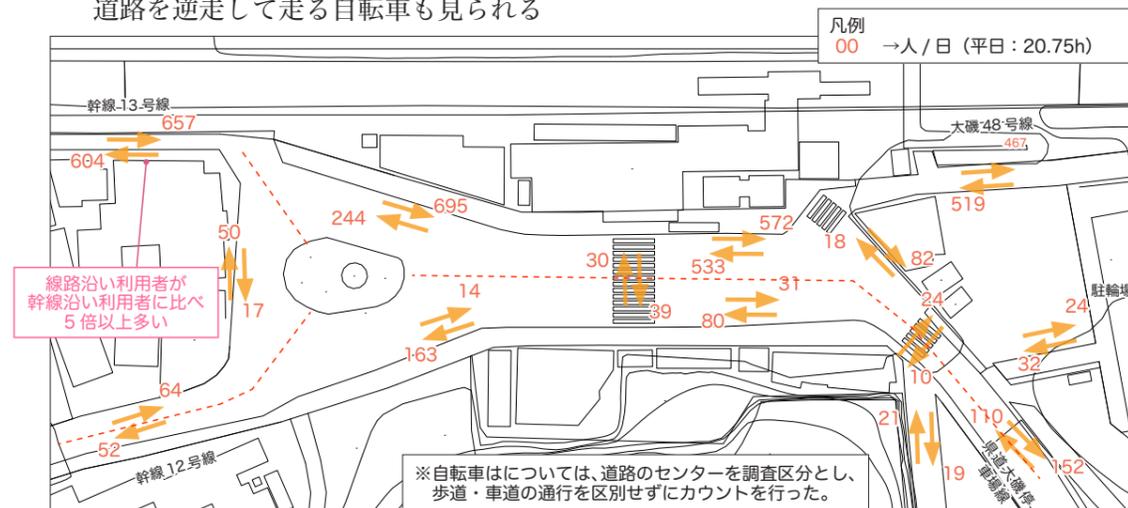
### ■歩行者交通量

線路沿いの幹線13号線、大磯48号線は、歩行者の主道路となっており、幹線12号線、県道大磯停車場線よりも1.5倍ほど多い。



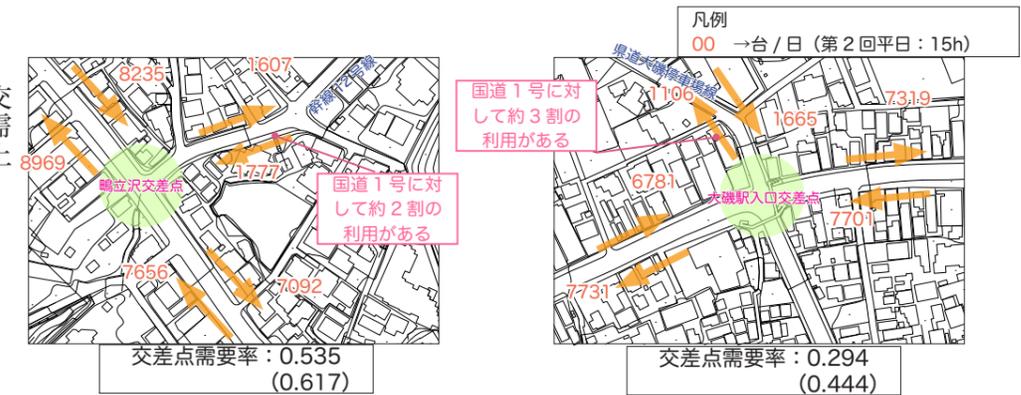
### ■自転車交通量

線路沿いの幹線13号線、大磯48号線は、幹線沿いの幹線12号線、県道大磯停車場線に比べ利用者5倍以上多い。  
 駅前広場内では、自転車のほとんどが車道上を走行している。広場内を斜めに横断し、道路を逆走して走る自転車も見られる



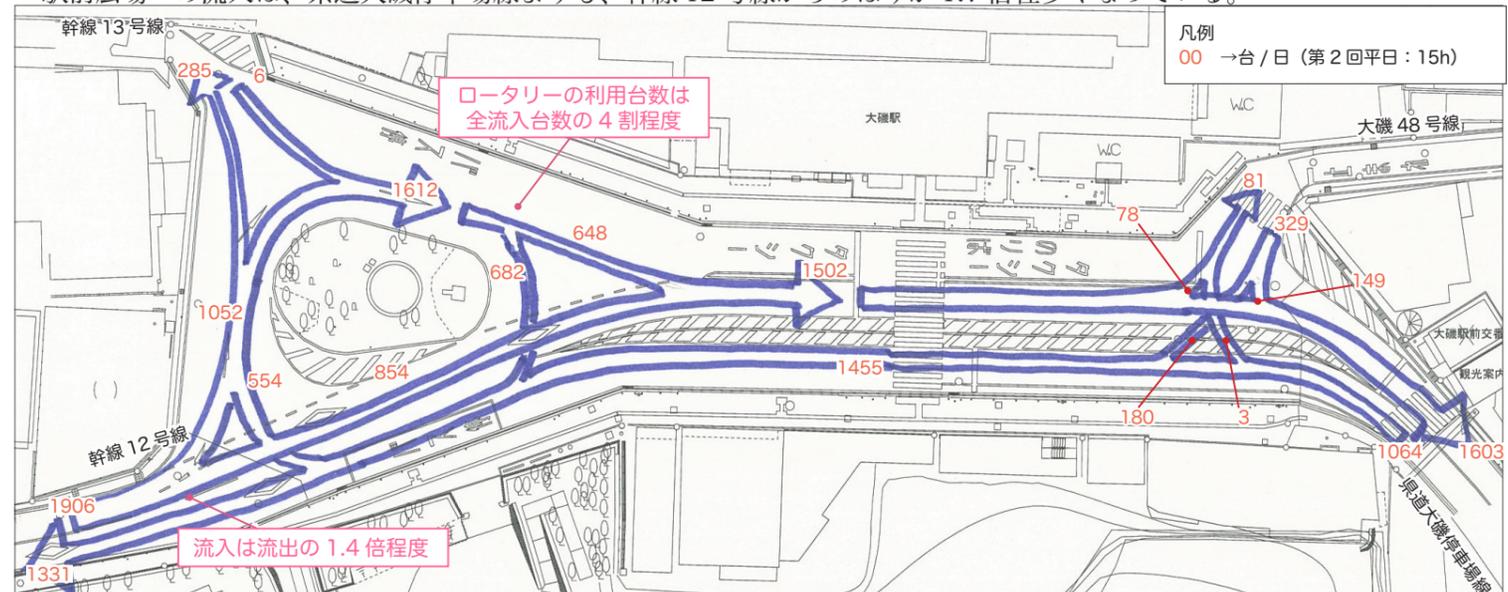
### ■自動車交通量(交差点部)

第1回、第2回調査共に、鳴立沢交差点、大磯駅入口交差点の交差点需要率は0.9以下となり、交通処理上問題はない。



### ■自動車交通量(駅前広場)

駅前広場への流入は、県道大磯停車場線よりも、幹線12号線からのほうが1.7倍程多くなっている。



### ■車両滞留状況・自動車乗降調査(最も交通量の多かった10/25平日について)

#### 【一般車】

平日で6:00～8:00の出勤通学時間帯、夕方の帰宅・終電の時間帯に駐停車台数が集中しており、6～8時で200～300台/時、18～20時で130～150台/時確認できた。また、その9割以上が送迎目的である。  
 ・最大滞留台数は、平日で、15時台と19時台に最大8台の滞留が見られる。

#### 【タクシー】

タクシーの発着台数は、平日では出勤時間帯の10時台、帰宅時の18時台、終電の24時台で多く、1時間毎に平均15台が発着している。  
 ・最大滞留台数は、平日で22～23時台に最大9台の滞留が見られる。  
 ・平均乗車人数が1.0を下回っている時間帯が9割を占め、空車で発車する車両が多く見られる。

#### 【バス】

平日は各バス乗り場で、帰宅時の18時～20時台の乗車人数が最大22.7人となっている。  
 ・休日は、平日に比べ午前中に乗車人数が最大となっている。

### ■通過交通量

駅前広場での通過交通の総台数は1015台である。駅前広場に流入する台数の約3割を占める。

自動車駅前広場全流入台数	3305台/日 <sup>※3</sup>
自動車駐停車(滞留)台数	2308台/日 <sup>※3</sup>
自動車通過利用台数	1015台/日 <sup>※3</sup>

(最も交通量の多かった10月25日(平日)調査値)

※3 各調査毎の調査値のため、誤差あり

二宮方面へ通過する車両は、11時台に最大42台である。一方平塚方面へ通過する車両は、9時台で最大71台となっている。

※詳細については、「資料編-2. 交通量調査結果」を参照



2-2. 事業コンセプト提案フロー

※各先行計画の概要は「資料編 3. 上位計画、関連計画の内容抜粋」を参照

大磯駅前広場整備コンセプト（案）を導き出すために社会背景及び先行計画等をフローで整理した。

